

平成22年4月27日

各 位



会社名 東 ソ ー 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 宇田川 憲一
(コード番号 4042 東証第1部)
問合せ先 経営管理室長 河本 浩爾
(TEL 03-5427-5123)

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

平成22年3月期決算において、関係会社株式評価損等の特別損失を計上することとなり、平成22年2月3日に公表した平成22年3月期の連結業績予想及び平成21年10月27日に公表した個別業績予想について修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上

(1) 個別決算における関係会社株式評価損及び関係会社投資損

当社の連結子会社である日本ポリウレタン工業株式会社株式について、急激な事業環境の悪化に伴いその実質価額が著しく低下し、また近い将来回復する可能性は低いと判断されるため、減損処理による関係会社株式評価損を計上いたします。また、同社の財政状態に鑑み、関係会社投資損を併せて特別損失として計上いたします。

特別損失

関係会社株式評価損	26,721	百万円
関係会社投資損	10,311	百万円 (注)
(合計)	37,032	百万円

(注) 貸倒引当金繰入額 3,600 百万円、債務保証損失引当金繰入額 6,711 百万円

(2) 連結決算におけるのれん償却額

個別決算で関係会社株式評価損を計上することに伴い、連結決算において、当該子会社に係るのれんの未償却残高を一括償却し、特別損失に計上いたします。なお、上記(1)の個別決算において計上する特別損失は、グループ会社間取引のため連結決算では相殺消去されます。

特別損失

のれん償却額	1,029	百万円
--------	-------	-----

2. 業績予想の修正

(1) 平成22年3月期通期（平成21年4月1日～平成22年3月31日）連結業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成22年2月3日発表)	百万円 630,000	百万円 7,000	百万円 2,000	百万円 △6,000	円 銭 △10.02
今回修正予想 (B)	628,700	13,000	10,100	6,900	11.53
増減額 (B) - (A)	△1,300	6,000	8,100	12,900	—
増減率 (%)	△0.2	85.7	405.0	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成21年3月期)	733,505	△20,314	△21,091	△25,262	△42.20

(2) 平成22年3月期通期（平成21年4月1日～平成22年3月31日）個別業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成21年10月27日発表)	百万円 430,000	百万円 21,000	百万円 22,000	百万円 13,000	円 銭 21.68
今回修正予想 (B)	436,000	19,700	21,500	△13,600	△22.69
増減額 (B) - (A)	6,000	△1,300	△500	△26,600	—
増減率 (%)	1.4	△6.2	△2.3	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成21年3月期)	499,714	△8,190	△2,765	△7,751	△12.93

(3) 修正の理由

連結業績につきましては、連結子会社における在庫評価の影響の改善、固定費の削減等により、営業利益、経常利益ともに前回発表予想を上回る見込みであります。また、個別決算において関係会社株式評価損を計上したことにより当社の税金費用が減少するため、当期純損益は前回発表予想から大幅に改善する見込みであります。

個別業績につきましては、売上高はスワップ取引の増加により前回発表予想を上回るものの、営業利益及び経常利益は交易条件の悪化により、前回発表予想を下回る見込みであります。当期純損益は、前述のとおり関係会社株式評価損等の特別損失を計上するため、大幅に悪化する見込みであります。

※ 上記の予想は、本資料の発表日現在に入手可能な情報に基づいております。従いまして今後の国内外の経済情勢や予測不可能な要素等により、実際の業績は現在予測している数値と大幅に異なる可能性があります。

以 上